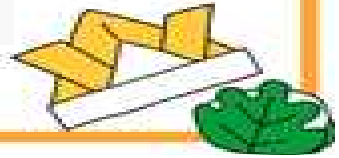


稗田小だより

平成30年 5月25日号



お天気も応援してくれますように！！

平成30年度の春季大運動会が明後日となりました。どの学年も完成度をより高めようと、今日も、運動場からは笛の音が聞こえます。今日まで、全校での練習も大切にしました。開会式や閉会式、応援合戦はもちろん、地域の方のお力をお借りして、御所ヶ谷音頭も練習しました。御指導いただきました末松さん、福光さん、本当にありがとうございました。

今日は、全校児童で役割分担をして、運動会の準備を行いました。子どもたちは、よく働きました。その姿に「運動会をすばらしいものにしよう。」という意気込みを感じることもできました。



たくさん練習をして、準備も整えたのに、少しばかりお天気があやしくなってきました。

「多くの方の御支援と子どもたちの精一杯のがんばりで創り上げる運動会をお天気も応援してくれますように。」

と祈るような気持ちです。

運動会に関する情報は、メールや電話等で発信していきますので、御協力をよろしくお願い致します。

今から、およそ百五十年前に、それまで、きんしなれてきた外国との行き来をみとめるようになり、外国に負けない軍隊を作るための学校を作りました。一八七四年三月、日本でさいしょのうんどう会をおこなったのは、海をまもる軍隊の学校で、おこなわれていました。それを、イギリス人の先生が、とりにいれたのです。さんかした生徒は、十三さいから二十さいすぎまで、およそ二百人でした。どの種目も、日本では初めての、めずらしいものばかりでした。「ときよう走」や「走り高とび」「走りばとび」のようなうんどうの力をききそうも、「二人三きやく」や「肩車きよう走」のよに、楽しむためのものもありました。プログラムをさいごには、「ブタおいきよう走」が、ありました。すばやくにけるブタを、つかまえることができなくて、生徒が走りまわったり、ころんだりするたに、みんなが大はひよりうごかすことを楽しんで、おみんなどい。大はひよりうごかすことを楽しんで、おみんなどい。うんどう会は、それいらい日本じゆうに広がっていききました。

学研発行 「なぜ? どうして? みぢかなぎもん 一年生」より

「テーマ」

うんどう会は、いつから はじまったの?



フキ博士のコーナー